大仙市立中仙小学校 学校報 令和4年5月18日

笑顔いっぱい

まに向かって

令和 4 年度 NO.7 みんなでチャレンジ









八乙女のニホンタンポポ

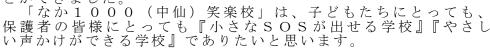
SHOW" な学校 なか1000笑 楽校

5月・・・「いのちの勉強」がつながっています

「心」と「体」の健康から、「自分の命を自分で守る」勉強が続いています。 そのゴールとなる「運動会」に向けて子どもたちが主役の活動も盛り上がってきました!

5月13日(金)SOSの出し方に関する教育

大仙市健康増進センター東部の保健師さんと一緒に、5、6年生が「自分を大切にしよう!不安なときのSOSの出し方」というテーマで勉強しました。自分がつらいときや、友だちがつらそうにしているときの思いを言葉に書きあられしたり、ペアで声の かけ方等をロールプレイ(台詞をつなげる)で体験したりする とができました。





小さなSOS

こまっているんだけど・・・」 どうやればいいか、わからない・ 相談したいことがあるんだけど・

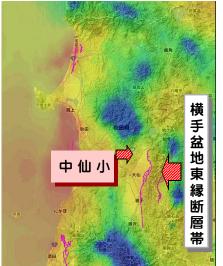
やさしい声かけ

「どうしたの?」 「何かあったの?」

5月16日(月) 避難訓練

地震を想定した避難訓練を行いました。秋田沖を震源とする大地震が発生し、県内各地とも震度5以上を記録するという設定です。 2時間目の授業中に突然非常ベルが鳴り、放送の指示を聞いて机の下に潜り込みます。 非常ベルと放送が響く校内は物音ひとつせず、訓練に臨んでいる緊張感に包まれました。 子どもたちが真剣に臨んでいる証拠であり、その健気さに感動しました。その後、避難 時の約束(おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない)も確実に守れ、整然とし た避難行動ができました。

前庭に避難完了してから、避難時に注意してほしい**合い言葉『お・い・た』**(お)・落ちてこない (い)・移動してこない (た)倒れてこない
に気を付けて避難することも大切であることを伝えて終了しました。
家庭でも、今地震が起きたら落下する・移動してくる
倒れてくる危険物を確認して、いざという時の備えをし



みてはいかがでしょうか。

今から39年前の日本海中部地震。だいぶ年月が過ぎま したが、遠足の小学生13名もの命が犠牲となってしまっ

たこの地震は、今も忘れられない災害です。 図のように、私たちの県も、地震の起きやすいところにあること。そして、中仙地域も奥羽山脈近くの断層の影響や地盤の弱さもあるので、地震に対する備えは必要です。いざというときに、「自分の命を自分で守る」ためにも、やはり「自分で考える」ことを大事に育みたいものです。

小学生にも身に付けたい 災害に関する資質・能力の例

- ※冷静に行動する力
- ※大人の指示を素直に聞いて行動する力
- ※多くの情報を取捨選択し活用する力

守ろう! 伝えよう! 地域の宝 八乙女山 』

本校の宝物の学びの一つである、6年生による八乙女山の学習がスタートしています。 3年生から始まる総合的な学習では、ふるさと中仙の学びから空間的な広がりをしなが ら、最終的にはふるさとに発信、参画する学びへと展開します。その中で、たくさんの人 とのつながりや体験活動が組み込まれています。 ※各学年の主な学習

「とことん大仙・・・」「中仙はかせ」「みんながみんなをつなぐ(福祉)」「秋田のよいところ」「平夕ケ・シイタケさいばい」「秋田の自然(自然体験学習)」「守ろう!伝えよう!地域の宝八乙女山」 「白神山地と男鹿の地理・歴史探究隊(修学旅行)」 「夢ってなんだろう」



6年生は、まずはみんなで歩いて八乙女山の花見に出かけました。

そして、5月10日(火)の「桜を学ぼう」では、 樹木医で全国桜の名所づくりアドバイザーでもある 黒坂登さんから、桜の種類や病気、グランドの桜の 剪定のことなどを教えていただきました。

「桜の寿命は手のかけしだい」

この言葉が子どもたちの心にも届いていました。 これから、自然観察や肥料をあげる作業等が続き ます。大変さをやりがいと感じながら、自分のふる さとのために自分ができることについて考え続けて ほしいと思います。

5月17日(火)『自然観察会』

この日は、「八乙女山を守る会」の皆様や、秋田県森づくり運動推進員の細川さんや、あきた森づくり活動サポートセンターの福井さんからのご協力をいただいて、八乙女山の

のさた森つくり活動サポートセンターの福井さんからのご協力をいたたいで、八乙女山の豊かな自然を体感することができました。 「八乙女山を守る会」からは、元・中仙町長の熊谷勲会長の他、皆川さん、高橋さん、小田島さんの4名に参加していただき、4班に分かれてウマノアシガタ、アマドコロ、マコミの花など、見たことはあるけど初めて名前を聞いた花や、ワラビやワラビ等の知っている植物にもふれあうことができました。 また、熊谷会長さんのこだわりでもある「八乙女をニホンタンポポの郷に」という願いのもと、子どもたちはたくさんのニホンタンポポを発見していました。











高い所からは小学校も見えるし、斉内川や玉川の流れもわかって、中仙地域できる八乙女。自分の生活を広い視野から、改めて見つめ直すこともできます。 中仙地域全体が一望 きる八乙女。自分の生活を広い視野から、改めて見つめ直すこともできます。 私も小学生の頃は、何度も遊んだ八乙女山です。無謀にも、山全体を範囲にかくれんぼ していたら日が暮れて、とっても不安になったことを今でも鮮明に覚えています。 自分のふるさとで、みんなとふるさとを学ぶことを大切にしたいと、熱く思っています。 「斉内川でなべっこがしたいなぁ」「玉川で鮎釣りや川下りをさせたいなぁ」 「学校の近くで田植えや稲刈りができればなぁ」「中仙で〇〇の体験ができないかなぁ」 「こんなこともできるよ」という楽しいアイデアや、 その道の方がいたら教えてください。